

病害虫防除技術情報第15号

平成 24 年 1 月 18 日
三重県病害虫防除所

イチゴのハダニ類の発生が多くなっています

- 1 対象作物 : イチゴ
- 2 対象病害虫名 : ハダニ類
- 3 発生状況 : やや多い
 - 1) 1月上旬の巡回調査(12圃場)では、寄生株率は18.5%(7年平均17.2%)、発生程度は9.3(7年平均10.3)、発生圃場率は50.0%(平年48.9%)と平年並でした。しかし、発生圃場だけでみると多発している傾向にあり、寄生株率は37.0%(7年平均29.3%)、発生程度は18.5(7年平均17.6)とやや多の状況です(表)。
 - 2) 一般圃場での発生量は、平年よりやや多の状況です。
 - 3) 1か月予報(1月13日名古屋地方気象台発表)によると、向こう1か月は平年に比べ晴れの日が多いと予想されます。ハダニ類を増加させないように注意してください。

表. ハダニ類の発生状況

| | 巡回調査圃場全体 | | | 発生圃場における平均 | |
|--------------|----------------|----------------|----------|----------------|----------------|
| | 寄生株率(%) | 発生程度 | 発生圃場率(%) | 寄生株率(%) | 発生程度 |
| 本年 | 18.5 | 9.3 | 50.0 | 37.0 | 18.5 |
| 平年 (7年平均) | 17.2 (7年平均) | 10.3 (7年平均) | 48.9 | 29.3 (7年平均) | 17.6 (7年平均) |

※各圃場50株を調査。

- 4 防除上の注意事項
 - 1) 発生が多くなると防除が難しくなります。圃場全体をよく観察し、発生密度の低いうちに徹底して薬剤防除を行ってください。
 - 2) 薬液がかかりやすくなるよう、不要な下葉を除去し、葉裏にもかかるようにていねいに散布してください。
 - 3) ハダニ類は薬剤抵抗性が発達しやすいため、同一薬剤や同一系統薬剤の連用は避けてください。
 - 4) 薬剤の散布にあたっては、天敵やミツバチに対する影響も十分考慮して、薬剤の選択を行ってください。

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。